

東京2020大会を振り返る

— その光と影 —

筑波大学
名誉教授
真田 久



史上初の開催延期となった東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が昨年行われました。コロナとの戦いの中で行われた大会だからこそ、第4のオリンピック・モットーの提示や共生社会への示唆など、これまでにない特徴が見られました。同時に巨大になりすぎた大会に対する警鐘も、コロナにより映し出されたことと思います。つくば談話会では、東京2020大会を振り返りつつ、これからのあるべき大会の姿や方向性について、一緒に考えてみたいと思います。

日時：2022年4月14日（木）13時30分～15時

会場：オンライン（Zoom）で実施いたします

※ 接続方法はお申込みいただいた方にお知らせいたします。

お申し込みは <https://ws.formzu.net/dist/S3525699/>

主催：筑波大学名誉教授の会 共催：茗溪会、筑波大学



つくば談話会は、筑波大学名誉教授の会のメンバーが自身の活動などについてお話しし、気軽な雰囲気の中で語り合うことを目的としています。どなたも参加できます。お気軽にご参加下さい。

筑波大学名誉教授の会

〒305-8577 つくば市天王台1-1-1筑波大学学生会館内 電話：029-853-7955

お問い合わせ先：第11回つくば談話会担当 電話：029-853-8284

Mail: tsukuba.danwakai@gmail.com